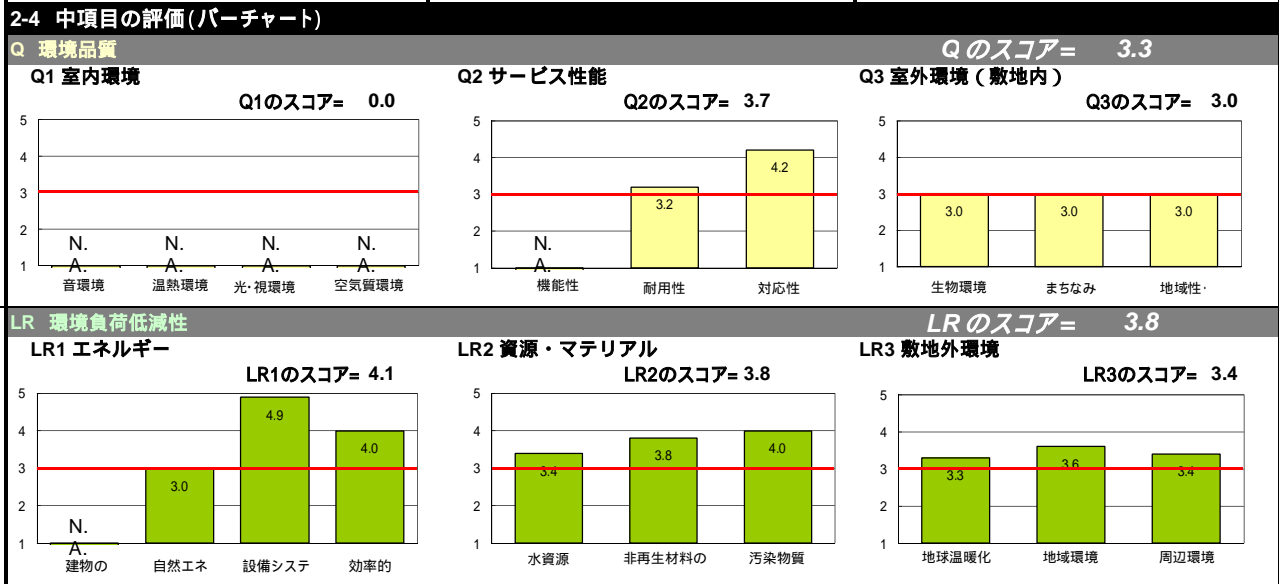
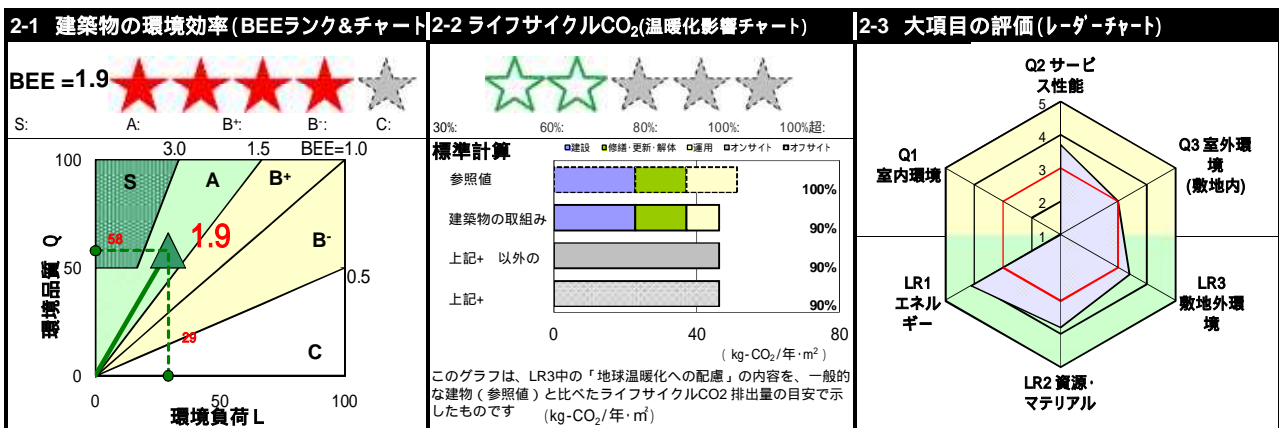


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)厚木物流センター	階数	地上5F
建設地	厚木市三田字北大六天47番3 他4	構造	RC造
用途地域	工業地域	平均居住人員	700 人
気候区分		年間使用時間	4,380 時間/年
建物用途	工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2013年3月 予定	評価の実施日	2012年3月9日
敷地面積	24168.66 m ²	作成者	山岸 孝康
建築面積	13,131 m ²	確認日	2012年3月22日
延床面積	52,375 m ²	確認者	三井住友建設(株)一級建築士事務所

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください



3 設計上の配慮事項		
総合	・高品質・安全性確保・短工期・低コスト及び省エネルギーを含めた高度な環境対応を図る。	
その他		
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境 (敷地内)
・評価対象外	・十分な階高と天井高を確保し、空間の形状・自由さにもゆとりを持たせることで、快適で利便性の高い倉庫内環境を実現している。	・敷地周辺の環境を踏まえた緑化計画を行っている。敷地全周に樹木を植え連続させることでグリーンベルトを形成し、快適で良好な外部環境を形成している。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
・各倉庫毎の照明・コンセント、空調動力、その他動力の区分において消費特性の傾向把握・分析を行い、省エネを図る。	・自動水栓及び、節水型便器の採用や、路盤に再生骨材を使用するなど、資源消費の低減、環境負荷削減に配慮している。	・十分な駐車場、駐輪場及びバイク置場の確保や十分な幅員の出入り口を設けることで、交通渋滞抑制の配慮を行っている。

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される